

学校だより <2月>

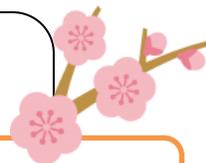
令和8年1月28日

朝日ヶ丘

学び合い 支え合う学校



家庭数



芦屋市立朝日ヶ丘小学校長 岡田 力

←現在実施中の給食週間の取り組み等、学校生活の様子をほぼ毎日更新しています。ぜひ本校ホームページをご覧ください。



😊思いと行動が広がり流れが生まれる😊

～震災とボランティアの話～

阪神淡路大震災の私の体験を子どもたちに集会でお話ししました。真剣に聞き入る子どもの様子を見て、話してよかったと思いました。

つらいことが多い中、希望の灯りであったボランティアのことに、今日はもう少しお話ししたいと思います。

私が山手中学校で避難所の仕事をしていると、京都から大学生の人がたった一人で「何か手伝うことはありませんか」とやって来ました。芦屋にはまったく初めて来たそうです。ニュースを見て居ても立ってもいられなくなったのでしょう。

避難所は人手不足でしたから、いくらでも仕事がありました。うれしかったのは、仕事の助けという面だけではありません。避難所という所は、家に住めなくなってやむを得ず来る、とにかく我慢しなければならない所だと思っていたけれど、そこへ自分から望んで、しかも笑顔で来る人がいることに、避難者も職員も勇気づけられました。

それからというもの、職員、ボランティア、避難者で協力して、あたたかい食べ物を作ったり、何か楽しめる企画をしたりして、長引く避難生活を少しでも快適にすごせるように知恵を出し合いました。そんな中で、悲しみに打ちひしがれていた人が、他の人と話したり、自分の役割を果たすことで、気持ちを切り換えることができたりしました。

この地震の年が後にボランティア元年と言われるようになったのは、実はこのような個人の思いや行動が始まりだったと思います。16年後の東日本大震災の年には、登録ボランティアが国内に870万人いた（災害対応に限りません）という記録があります。「自分にできることをしよう」という一人一人の思いが、やがて大きな流れとなり、現在の組織的なボランティアにつながったのです。

さて、先日、4年生は外国語活動で、英語で避難所を案内する活動に取り組みました。「水がほしい(I want water.)」「寒い(I'm cold.)」などと言う外国人役の先生たちを、英語を使って案内するというものでした。私は予定にはなかったけれど、「I want a friend.」と尝试してみました。聞いた子どもたちが手を出し握手してくれました。朝小では相手の気持ちを想像し、自分で判断し動くようとする子どもたちが育っていますね。

読書スタンプラリー達成

1年 10名
2年 13名
4年 2名

表彰



協力して造形展の準備

兵庫県小・中・高校絵画展

特選 6年 2名
5年 1名
入選 6年 1名
5年 2名



給食の震災メニューのおにぎり

6年生と1年生がお話を読み合い



行事予定

3日(火) 入学説明会
6日(金) 5年生スポーツ交流会(午前)
6年生校外学習
10日(火) 5校時まで
11日(水) 建国記念の日
12日(木) 5校時まで
19日(木) あさひ活動
20日(金) 5校時まで
23日(月) 天皇誕生日
25日(水) 6年生を送る会
26日(木) 学年懇談会(高学年)
27日(金) 学年懇談会(低学年)

<3月の主な予定>

2日(月) 幼稚園等年長児との交流(1・5年生)
委員会
4日(水) 校外集会
6日(金) あさひ活動
5校時まで
16日(月) 大掃除 13:30下校
17日(火) 給食最終日 13:30下校
18日(水) 歓送式
19日(木) 卒業式(1~4年生お休み)
20日(金) 春分の日
23日(月) 12:30下校
24日(火) 12:30下校
25日(水) 修了式 11:00下校
26日(木) ~4月8日(水) 春季休業日

※状況によって変更する場合があります。